

朝日小学校からの報告

活動団体名： 朝日小学校 4年生

活動人数： 22人（教員2名）

取組時間：総合的な学習の時間

調査内容

1回目：6月20日（月） 朝日小学校前水路 晴れ 2回目：6月27日（月） 朝日山神社前水路 曇り
3回目：7月 7日（木） 延勝寺地区河川 晴れ

今年度の調査では、網で川底を探り指標生物の調査を行うことで水質階級の判定、水温計を使用した川の水温の調査、気温計を使用した気温の調査、メジャーを使用した川幅・水深の調査、ストップウォッチとメジャーを使用した流速の調査、網や目視での川底の状態調査、水のおい、水のにごりパックテストを使用したCOD値の調査を行いました。

活動中の子どもたちの反応は、とても素直で「わあ」「見て！」「この間と生き物が違う」などたくさんの方が聞こえてきました。全3回行う中ではじめの時よりも、指標生物の見分けがついたり、自分の役割をやり遂げようとしたりなど主体的に調査に関わる姿が増えました。また、透き通ったきれいな水とそうでない水とで棲む生き物が異なることや、見た目がきれいに見えても川の近くに田んぼがあることなどの環境によって棲む生き物が異なることなどを、講師の先生の発問から考える子どもたちの姿がありました。



調査員の感想

子どもたちの環境日記から

- ・調べてみる川によって見つけれられる生き物が違うことが分かった。
- ・川に入ると冷たくて、気持ちがよかった。生き物の気持ちになって調査ができたと思う。
- ・目で見て流れが速い、遅いはわかるけれど、どれだけ速いかなどをストップウォッチを使って調べて、本格的だと思った。

捕まえた生き物たち

朝日小学校前水路では…

ガガンボ類・サワガニ・シジミ類・カワニナ・マツカサガイ・カタハガイ・スジエビ。

朝日山神社前水路では…

サワガニ・シジミ類・カワニナ・イトミミズ・スジエビ・ホタルの幼虫・ヨシノボリ・カマツカ。

延勝寺地区河川では…

シジミ類・カワニナ・モノアラガイ・サカマキガイ・イトミミズ・カタハガイ・ナベブタムシ・ゲンゴロウ・フナ。



調査のまとめ

朝日小学校前水路と朝日山神社前水路では、ⅠきれいとⅡ少し汚れているの指標生物を多く見つけたことから、学校周辺の水環境は変わらず生物にとって棲みやすいものに保たれていることが分かりました。3回目の延勝寺地区河川では、CODの調査も前の2か所とあまり変化はなかったものの、指標生物からⅢよごれているという結果になりました。指標生物以外の生き物が多く採取できたことは、琵琶湖に近くなったことや田んぼが近くにあることから、生き物にとっての栄養が多くあることが背景にあるのではないかと考察しました。

調査を行う中で、教師や講師が基本的な調査の仕方を伝えるのみでも子どもたちは積極的に活動し、環境保全について子どもたち自身が主体的に考えられるよい経験になりました。

活動の様子

【朝日小学校前水路調査】



【指標生物探し】



【生き物図鑑と見比べ】



【朝日山神社前水路調査】



【珍しい貝を発見！】



【ヨシノボリ類に遭遇】



【延勝寺地区河川調査】



【3つの中で一番浅い！】



【ヤツメウナギ】



【ハグロトンボ】

